

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期茂原市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県茂原市

3 地域再生計画の区域

千葉県茂原市の全域

4 地域再生計画の目標

茂原市は温暖な気候に恵まれ、豊富で良質な地下資源である天然ガスと首都圏まで60km圏内、また羽田・成田の両空港まで1時間程度という立地条件を活かし、農業・商業・工業などバランスのとれた産業に支えられて発展してきた。しかしながら景気低迷に伴う大手企業の撤退や工場の規模縮小、さらには海外企業との取引などによる産業構造の変化に伴い、企業の経営環境は厳しいものとなっている。また本市の人口は2002年10月の95,356人をピークに2019年12月には89,123人と6.5%も減少している。住民基本台帳によると2021年4月1日時点において88,073人となっている。さらに、国立社会保障・人口問題研究所によれば、2060年には53,402人と推計されており、人口減少による商業施設や企業の撤退、公共交通機関の縮小・撤退、行政サービスの低下、地域コミュニティの衰退など、地域全体の活力の低下が懸念される。

年齢3区分別の人口推移をみると、年少人口は1980年から、生産年齢人口は1995年から減少が続いている一方、老年人口は増加が続いている。2020年4月1日時点において年少人口9,054人、生産年齢人口50,586人、老年人口は29,065人となっている。

自然動態をみると2005年以降は死亡数が出生数を上回り、減少幅は年々拡大しており、2020年には679人の自然減となっている。合計特殊出生率をみても、2019年には1.21と県平均値を下回っている。社会動態をみると、2000年以降は、

転出が転入を上回る「転出超過」の年が多くなっている。2019年には86人の社会増となっているが、前年の2018年には37人の社会減となっている。年齢階級別の転出入の状況をみても、男女ともに進学・就職時期にあたる20～24歳になる際に大幅な転出超過となっている。男性は、大学等卒業後の就職時期にあたる25～29歳では転入超過になっているものの、20～24歳の転出超過数を補う水準には至っていない。これらの若年層の市外流出は、将来の人口動態に直結するだけに、若年者に定住地として選ばれるようなまちづくりが求められている。

本市の交流人口の動向をみると、2013年の観光入込客数は129万人で県内21位の水準となっている。もっとも、観光入込客数の約7割は「茂原七夕まつり」が占めており、それ以外の観光資源が乏しいのが現状である。圏央道ICの利活用及び広域連携を視野に入れた取り組みが課題となっている。

また、定住促進及び交流人口の拡大に向けて、本市の魅力をタイムリーに情報発信することも求められる。

これらの課題に対応するため、本計画において次の事項を基本目標に掲げ、社会・経済情勢の変化に対応し、安定的かつ継続的に市民の暮らしを守るとともに、自立した活力のあるまちの実現に向けた取り組みを進めていく。

- ・基本目標1 産業が力強く成長するまち
- ・基本目標2 結婚・出産・子育てを応援するまち
- ・基本目標3 活力とにぎわいにあふれるまち
- ・基本目標4 誰もが安心して暮らせるまち
- ・横断的な目標 地域力が暮らしを支えるまち

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内事業所数（法人市民 税申告件数）	2,215件	2,293件	基本目標1
イ	合計特殊出生率	1.24	1.55	基本目標2

イ	出生数	464人	577人	基本目標 2
イ	「今後もこの地域で子育てしていきたい」と回答した市民の割合	91.1%	91.5%	基本目標 2
ウ	有効求人倍率（ハローワーク茂原）	0.89倍	1.00倍	基本目標 3
ウ	観光入込客数（延べ人数）	1,340,016人	1,400,000人	基本目標 3
エ	自主防災組織カバー率	61.95%	72.54%	基本目標 4
エ	刑法犯罪認知件数	489件	390件	基本目標 4
オ	社会増減数	△16人	+100人	横断的な目標
オ	自治会加入率	55.5%	55.5%	横断的な目標
オ	市民活動支援センターにおける窓口での相談支援件数	82件	100件	横断的な目標
オ	市民活動団体の認定数（累計）	27団体	40団体	横断的な目標

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期茂原市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 産業が力強く成長するまち事業

イ 結婚・出産・子育てを応援するまち事業

ウ 活力と賑わいにあふれるまち事業

エ 誰もが安心して暮らせるまち事業

オ 地域力が暮らしを支えるまち事業

② 事業の内容

ア 産業が力強く成長するまち事業

将来にわたる持続可能なまちづくりの源泉である「雇用の場」の創出に向け、地理的優位性を活かして企業の立地を促進するとともに、既存産業の競争力強化や地域資源を活かした新産業の創出を促進する事業。

【具体的な事業】

- ・成長産業の立地促進事業
- ・市内産業の競争力強化事業 等

イ 結婚・出産・子育てを応援するまち事業

結婚・出産・子育て、それぞれのステージで希望がかなうよう、切れ目なく総合的に支援する。また、希望をかなえるために不可欠な「雇用の場」の創出による経済的基盤の安定とあわせ、地域や企業の支援を充実することにより、「まち」全体で子育てを応援する機運を高める事業。

【具体的な事業】

- ・結婚・出産の希望に応える支援の充実事業
- ・安心して子育てできる環境づくり事業 等

ウ 活力と賑わいにあふれるまち事業

地元雇用の促進や子育て環境の充実などにより、「住み続けたい」と思えるまちづくりを進めるとともに、地域資源の活用や創出、まちの魅力の発信などにより、交流人口の拡大を図り、「住んでみたい」と思われるまちづくりを目指す事業。

【具体的な事業】

- ・生活基盤の安定による移住・定住の促進事業
- ・まちの魅力を活かしたにぎわいづくり事業 等

エ 誰もが安心して暮らせるまち事業

すべての市民が安心して暮らすことができるよう、頻発する自然災害に備えた災害備蓄品の整備拡充や、地域の防犯力向上に資する施設の設置と維持管理を行う。また、医療・福祉・教育・商業・行政等の都市機

能をつなぐ、地域公共交通サービスの確保と充実を図る事業。

【具体的な事業】

- ・ 防災・防犯・交通安全対策の充実事業
- ・ 地域をつなぐ交通網の形成と利便性の向上事業 等

オ 地域力が暮らしを支えるまち事業

人口減少や高齢化に伴って発生する様々な地域課題を解決するため、地域に関わる一人ひとりが担い手として主体的にまちづくりへ参加し、活躍できるような環境づくりを推進する。また、ＩＣＴなど先端技術を積極的に活用することで、地域課題の解決や改善を図る事業。

【具体的な事業】

- ・ 多様な主体が参加する住みよいまちづくり事業 等

※ なお、詳細は茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（ＫＰＩ））

４の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

50,000 千円（2021 年度～2025 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（ＰＤＣＡサイクル）

設定した事業の KPI に対する達成度を内部評価した後、外部有識者で構成する検証機関により、毎年度 8 月頃に効果の検証を行う。また、外部組織の検証結果を踏まえ、議員全員協議会で事業成果や効果の検証を行い、茂原市の W E B サイトにより公表を行う。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで